

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらり中庄		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画や日々の支援について、チームで考えることが出来る。	朝礼や終礼の時に利用児の姿の共有や関わりの検討を行っている。 経験が長い職員が多く、今までの経験や知識を持ちより話し合いを行うことが出来る。 保育士や作業療法士、言語聴覚士、理学療法士等の意見を必要に応じて、聞き取り立案することが出来る。	職員それぞれの強みや専門性を活かし、より良い支援に向けて研修や勉強会の実施を行っていきたい。 支援統一が出来るよう職員も困りごとを共有できる取り組みを行いたい。
2	活動のプログラムが固定化しないようしている	週や月で活動内容を変えたり季節に応じて、制作や活動を設定しており楽しんで活動出来るようにしている。 初めての活動も月を通して、出来るように経験を積むことが出来ている。	支援プログラムの内容を踏まえ、今後も利用児の「できた！」をたくさん感じられるよう活動を設定していく。 支援プログラム自体も見直しを図り、発達支援の充実を図る。
3	保護者との懇談や所属園へ訪問し、相談員との連絡も密に図り、情報共有を行えている。	保護者の悩みや思い、家庭や所属園と事業所でのお子さんの様子の違いなどを双方が行き来し情報交換を行うことで、お子さんの姿を関係者が捉えられるようにしている。	お子さん一人ひとりが地域の園等で生活していきたり、就学移行されていきたりする過程を関係者で共有し本人・家族・地域支援を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	周辺に保育園や幼稚園がなく、地域との交流をする機会がない。 過去に地域との交流をしてきた実績がなく、新たに企画、開催に向けてのニーズや必要性について検討出来ていない。	様々なお子さんや大人との関わりの中で成長を見守れるよう地域との交流や行事の開催、ボランティアの募集等ができればと考える。 地域の園との交流など、法人としての取り組みも考えていく。
2	保護者同士の交流の少なさ	ベアトレや茶話会、勉強会等の実施は行っているが、参加できる保護者が少ない。 ニーズにあった行事の開催に至っていない。	ニーズを聞き取りながら茶話会や勉強会の開催を行っていく。 保護者同士で悩みや成長を話し合えるような機会を設けていく。
3			